

令和4年10月市長定例記者会見

日 時：令和4年10月13日（木） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、富山テレビ放送、
NHK 富山放送局、庄東タイムズ、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、財政課長、未来創造課長、
総務課長

○質疑応答の概要

Q 1. 新たな未来への投資特別枠設置に込めた思いをお伺いしたい。

A 1. 内容としては、未来に向けて、急速に進化するデジタル技術の活用や脱炭素社会の実現、地域資源を活かした魅力あるまちづくりに関する事業など、市民が幸せを実感することができ、本市の更なる成長の実現につなげていく施策について、効果的な提案を受け付けるもの。新たな未来には、令和5年度は第3次総合計画がスタートする重要な年であること、また、デジタル変革やGXの推進など未来に向けて本市が着実に成長、発展していくといった意味を込めた。

Q 2. 投資特別枠の具体的な取組が決まっていればお伺いしたい。また、6つの事業のうち、特に力を入れたい事業はどれか？

A 2. いずれに対しても力を入れていく。具体的な事業についてはこれから予算編成を行うため、現段階で申し上げることができない。

Q 3. 来年度はシーリングを設けないとのことだが、設けないのはいつ以来か？

A 3. マイナスシーリングを設定しないのは、平成29年度以来である。なお、シーリング自体を設定しないのは、平成25年度予算編成以来である。

Q 4. オリバースポーツフィールドが開設されて半年経つが、手ごたえは？

A 4. オープン前から問合せをいただいております。オープン後、特に土日・祝日には多くの利用をいただきました。屋根付きフットサル上はサッカースクールに利用いただいている。スポーツの人を惹きつける、活力を生み出していく力を改めて感じている。今後の課題としては、平日の午前や夜間の利用増に向けて、例えば利用していただける団体を見つけながら営業をかけていくことや、サッカーに限らず、多様な使い方を考えながら利用を増やしていきたい。

Q 5. 高岡市の勝興寺が国宝に選ばれたが、隣である射水市にどのように巻き込んでいきたいか。

A 5. 大変うれしいニュースだと感じており、心からお祝い申し上げたい。国宝に選ばれ、多くの方が訪れることが期待される。射水市としては、新湊の曳山、建造物や仏閣の生かし方を検討しながら、連携を図り、エリアとして活性化できる取組ができればと考えている。

Q 6. マイナンバーと保険証の一体化に伴い、マイナンバーカードを作成される方が市役所に多く訪れ、1階窓口の混雑が予想されるが、混雑緩和の取組みについてお伺いしたい。

A 6. 出張申請受付の取組について PR したいと考えている。

Q 7. マイナンバーカードの申請を受付けている地区センターが混雑するのではないか。

A 7. 5人以上の方がまとまって申請いただける際には、出張申請を受付けているので、効果的に活用いただけるよう PR したい。

Q 8. 県議選に向けて、射水市選挙区では5人が正式に出馬表明されていたかと思うが、応援要請など市長のスタンスをお伺いしたい。

A 8. 応援要請について具体的なお話はいただいているが、自民党公認の方等を中心に応援をさせていただければと考えている。

Q 9. 夏野市長は大門に住んでおられ、住み分けによって「この候補を重点的に」というのはあるのか。

A 9. 住み分けによって票が分かれるような簡単な話ではない。

Q 10. 全国青年市長会長として、岸田首相に要請した少子化対策への思いをお伺いしたい。

A 10. 射水市としても安心して子育てができる環境に力を入れてきた。少子化の要因は複雑な部分もあるが、子どもを産み育てることに不安がないことが大事だと考えている。例えば医療費についても助成対象年齢を拡大した。産後ケア等の母子保健事業にも力を入れている。今後も子育て世代の方のご意見を伺いながら取り組んでいきたい。

Q 11. 勝興寺の国宝指定があったが、帆船海王丸が国の認定を受けることは難しいのか。

A 11. 海王丸はふね遺産に登録されている。国の認定については働きかけを行っていききたい。

Q 12. とやまビストロノミー倶楽部のユネスコ食文化創造都市に向けた取り組みについてどう考えているか。

A 12. ユネスコ食文化創造都市に向けた取組について、現状としては素地を固めておられるところと認識している。本市の魅力ある食を全国・世界に発信していく取組の現状について今後も注視していき、連携・支援についても行っていききたい。

Q 13. シーリングを設けないことに期待することは？

A 13. シーリングを設定することによってこれまでの事業の前例踏襲となる。令和5年度は、第3次総合計画前期実施計画の初年度と重要な年である。本市が未来世代に選ばれる持続可能な都市として成長・発展していくための予算となるよう、斬新で効果的な事業について幅広く要求を受け付けるため、シーリングは設けないこととした。

Q 1 4. 2年目となるDXをどのように進めていくか。

A 1 4. 昨年8月に策定した射水市DXビジョンの中で、具体的に進めていける取組について、まずは実証実験を進めていくことを目指している。